

質問書

2021年12月2日

「南スーダン国食料安全保障・生計向上のための農業振興・再活性化プロジェクト」
(公示日:2021年11月17日/公示番号 21a00845) について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
①	p.28(13)	<p>本プロジェクトでは、特に1期での調査及び協議結果を経て、本格的な活動内容が決まると理解している。そういった意味では、例えばP28の(13)に書かれてある通り、「4プロジェクトを全て実施することになった場合は」と、4つの分野全てをフルに扱った現場活動をする場合もあれば、2つの分野をフルに扱い、2つの分野はそれとは違った補足的な活動を行うようなイメージも考えられる。現在の、想定MM量、特に4つの『生産技術』に関するものは、第1期から第3期まで、「4つのプロジェクトを全て実施する」という想定で設定されたものかどうか、お聞きしたい。状況によっては、第1期の結果、第2期以降、関連団員のMM量が増えるような</p>	<p>企画競争説明書に記載している「約105.08人月」は、4つの分野を全てフルに扱った場合の人月の想定です。基本的には第2期以降の人月の増加は想定しておらず、現地の人材を有効に活用いただく方向で検討いただきたいと思います。</p>

		可能性もあるのかどうか、お聞きしたい。	
②	p.23(6), p.29(15)	<p>P23 の(6)において、「・・・それを可能にするための思い切った十分な投入（インフラ、機材、投入財）計画を提案する」とある。また、P29 の(15)において、「農家に導入を推奨したい新規/改良技術を展示するために設置を予定しているデモ圃場/施設（畑、鶏舎、養殖池等）の整備及びモデルプロジェクトに必要な資機材（農機具、種、飼料等）の準備を行う」とある。これらの意味合いは、2期以降に可能性のある動き、つまり、①と同様、第1期の調査及び協議結果を踏まえて、その在り方が決まると理解している。そういった意味では、これらに関する経費・予算については、今回の見積もりに入れない、という理解でよいか。見積もりとして入れる場合も、仮の定額計上及び別見積での計上が適切と思うがいかがか。</p>	現時点で得られている情報の範囲でご提案をお願いします。別見積もりとしてください。
③	p.34(3)	<p>P34 の(3)現地再委託に関連して、A：第1期におけるデータ収集を含んだベースライン調査、B：第1期における実証・試行活動、C：モデルプロジェクトの実施、D：モデルプロジェクトのモニタリング、という4つのパ</p>	現時点で得られている情報の範囲でご提案をお願いします。別見積もりとしてください。

		<p>ターンが考えられるが、CやDは、現状ではその必要性が判断しにくいと考える。Bも、Aの結果を踏まえて、その必要性やあり方を考えるとの理解で、同様に今の段階でその在り方を判断するのは難しいと考えている。以上、特に、AやBについては、第1期での動きが前提ということで、その必要性は早急に検討・決定する必要があると思われるが、いずれにせよ、今の段階で、どれくらいの経費が必要となるかを正確に見積もるのは難しいと考える。ということで、こちらも、今回の見積もりに入れない、もしくは、見積りに計上しておくべきということであれば、AからDにどれにせよ、仮の定額計上及び別見積での計上が妥当と思われるがいかがか。</p>	
④	p.34(3)	<p>③のうち、第1期における実証・試行活動については、現地再委託とする場合だけでなく、自前で実施する場合も、今の段階でどれくらいの経費が必要となるかを正確に見積もるのは難しいと考える。こちらも、今回の見積もりに入れない、もしくは、見積りに計上しておくべきということであれば、仮の定額計上及び別見積での計上が妥当と思われ</p>	<p>現時点で得られている情報の範囲でご提案をお願いします。別見積もりとしてください。</p>

		るがいかがか。	
⑤	p.25(15)	政府職員の現状は、P25 の(15)で書かれている通りと認識している。政府系関係者の中でも、州以下の普及員の動きは重要であると考え、活動予算はほぼゼロという理解をしている。今後、活動内容がより詳細に確定された場合、普及員が活動しやすいような仕組み（バイクや日当の支給等）の導入は可能性はあるか。その場合、②で述べたように、第1期の第2期以降の活動検討の際に、必要に応じてその追加予算の是非・可否が検討され、2年次以降に実施される可能性がある、という理解でよいか。	バイクについては6台の調達を予定していますので、本見積りで計上をお願いします。普及員への日当・宿泊費の現金支給については、所掌地域内での業務の場合には基本的にを行わない方針で、契約に含めることは想定していません。ただし、政府財政の状況に鑑み、同方針によって活動に著しい影響が生じる場合は、他案件への影響にも配慮し南スーダン事務所と対応方針を検討します。なお、その他活動しやすいような仕組みについて提案があれば、別見積りで経費の計上をお願いします。
⑥	p.25(15)	第1期における実証・試行活動については、この活動の中で C/P を巻き込んだ形で農家グループを対象とした活動を行うことも想定しているか。その場合、⑥と同様、普及員が活動しやすいような仕組み（バイクや日当の支給等）の導入の可能性はあるか。その場合、仮の定額計上及び別見積りで計上が妥当と思われるがいかがか。	C/P を巻き込んだ形での活動は想定していますが、普及員が活動しやすいような仕組みについては上記⑤のとおりです。
⑦	p.36(5)	P.36 の(5) 対象国の便宜供与として、「・・・執務スペース（椅子、机等含む）の提供、そ	・事務所の場所：中央エクアトリア州政府敷地内（中央エクアトリア州農業・環境・森林省等の近隣）を予定してい

の他各種情報提供がある予定」とあるが、より詳しく、以下の執務環境関連の情報及び関連資機材の必要性をご教示願いたい。また、関連資機材を本プロジェクトで調達する場合、特に、状況がはっきりしない場合や定額計上という指定もない場合は、基本それらの経費は別見積での計上、という扱いでよいか。

- ・事務所場所
- ・事務所の光熱費
- ・ジェネレーターによる電気利用の場合のジェネレーターのメンテナンス代や燃料代
- ・複合機もしくは小型・中型のコピー機（レーザープリンター等）の有無、それらに関する消耗品の必要性
- ・インターネット（通信環境）の状況
- ・椅子や机は、基本、想定する団員数やナショナルスタッフ数に応じたものを政府側から提供していただけるのか
- ・想定 C/P らのコンピューター機器（ラップトップ又はデスクトップ）の有無
- ・C/P 利用を想定したプロジェクト車輛の新規購入はなく、P7 に書いている通り、車輛

ます。

- ・事務所の光熱費、椅子や机：R/Dに記載のとおり南スーダン側による負担を想定しています。見積りは計上不要です。
- ・ジェネレーターのメンテナンス代や燃料代：見積りは計上不要です。
- ・インターネット（通信環境）の状況：インターネットについては提供されない可能性が高いため、別見積りにて計上をお願いします。
- ・車輛：購入は想定しておらず借上げを予定しています。別見積りで計上をお願いします。
- ・複合機等の有無、消耗品の必要性：複合機1台の購入を予定しています。消耗品代と合わせ本見積りで計上をお願いします。
- ・想定 C/P らのコンピューター機器の有無：4台の購入を予定しています。本見積りで計上をお願いします。
- ・その他、プロジェクターやUPS、会議用マイクロフォン、棚、ロッカー、金庫等、プロジェクトが利用できるオフィスでの資機材の有無：現時点では未定のため、必要と考えるものがあればプロポーザルにて記載するとともに、別見積りにて記載してください。

		<p>借り上げを基本とするという理解でよいか。</p> <p>・その他、プロジェクターやUPS、会議用マイク、フォン、棚、ロッカー、金庫等、プロジェクトが利用できるオフィスでの資機材の有無</p>	
⑧	p.7 (6)	<p>P7 に、別見積りに計上する経費についての記載があり、その他として”本邦研修に係る経費”がある。ただ、本プロジェクトでは第1期の詳細策定フェーズによって今後の活動の本格的な形が決まると理解している。その状況下では、本邦研修についても、現状では対象数や内容についての正確なイメージを作ることが困難であり、今回の見積もりにいれないか、別見積りに載せるとしても、定額計上が適切であると考えがいかがか。</p>	<p>1回100万円で定額計上、別見積もりとしてください。</p>
⑨	p.7 (6)	<p>⑧と同様、将来的に、ウガンダ等での第三国研修の可能性があるが、こちらも、計上するとしても、別見積りでの定額計上のような形での計上となるか。</p>	<p>想定できるプログラムを別見積りにてご提案をお願いします（⑧とは異なり、定額計上ではありません）。</p>
⑩	<p>P23 第6条（4）</p> <p>P29 第7条（15）</p>	<p>P23 の第6条「（4）詳細計画段階におけるモデルプロジェクトの設計・選定の重要性」に「本格実施段階に向け、対象農家への持続的なサービス提供に必要な地方行政、および関</p>	<p>技術の展示が主な目的で、大規模なものは想定していません。</p>

		<p>係者の能力構築や普及技術開発の試行・普及の拠点となるデモ圃場等の整備を並行して進めることも必要である。」とあり、またこの展示圃場についてはP29の第7条「(15) デモ圃場の整備およびモデルプロジェクトに必要な資機材の準備(活動2-3)」に「デモ圃場/施設は、技術の展示だけでなく、農家に提供する種苗や飼料を生産する拠点として活用することも想定している。」とありますが、どのような規模のものを想定されておりますでしょうか。見積額にも関連するため、可能な範囲でご教示ください。</p>	
⑪	P23 第6条(6)	<p>「各モデルの計画・実施に際しては、日本が実施する技術協力として将来的な農業振興・再活性化に向けた大きなインパクトをもたらすべく、技術的なボトルネックを十分に調査し特定したうえで、これを打開するために必要な我が国が比較優位を有する技術移転と、それを可能にするための思い切った十分な投入(インフラ、機材、投入財)計画を提案する。」とあります。農業案件におけるこのような投入については様々なレベルが考えられるかと思いますが、現段階で想定する投</p>	<p>投入規模については詳細計画策定段階を通じて具体化する予定です。なお、基本計画策定調査では、モデル圃場の整備(例えば小規模な灌漑設備の導入)や現地NGOによる養殖開発・普及拠点の整備などの可能性を確認しています。</p>

		入のレベルのイメージについて、差し支えない範囲でご教示ください。	
⑫	P26 第 7 条 (7)	「各モデルプロジェクトに関するベースライン調査（各分野の農家の生産活動・量、使用されている技術と課題、コミュニティの住民構成・関係性や紛争の影響、栄養状況、家計状況やジェンダーなどの社会的側面、気候変動の影響等）を実施する」とありますが、ここでいう「ベースライン調査」とは各モデルプロジェクトの分野にかかる現状を把握するためのいわゆる基礎的な調査という意味合いとの理解でよろしいでしょうか。もしこのベースラインを基準としたエンドラインとの比較等を想定されているようであれば、その目的や意図等も含めてご教示いただければと思います。	ベースライン調査は、現状の把握（本格実施段階に向けた計画への参考）と併せて、プロジェクト目標の達成度を把握するための情報として活用することを想定しています（プロジェクト目標にかかる指標を念頭に置いたものです）。
⑬	P32 第 8 条 (1)	「プロジェクト事業完了報告書」についても簡易製本での提出との理解でよろしいでしょうか。念のため確認させて頂けますと幸いです。	簡易製本ではなく、製本をお願いします。
⑭	配布資料その 2、④モデルプロジェクト候補サイトリスト	「配布資料 その 2」の「④モデルプロジェクト候補サイトリスト」について、中央エクアトリア州政府から養殖、養鶏、園芸の各分	他の開発パートナーの活動との重複回避などの視点からあくまで候補として提示されたもので、必ずしもこの中から選ぶものではなく、プロジェクト開始後 CP との協議の

		野における候補地が示されていますが、これはどのような基準でリスト化されたものでしょうか。またこのリストは政府側の「要望」なのか、あくまで現段階で考え得る「候補の一つ」なのか、その位置付けについても可能な範囲でご教示いただけますと幸甚です。	上改めて選定するという事で理解を得ています。
⑮	p.7(6)見積書 5)	「5) 新型コロナウイルス感染対策に関連する経費」について、「PCR 検査代および隔離期間中の待機費用等は見積書に計上しないでください」とあるが、具体的には「PCR 検査関連費用」、「現地一時隔離関連経費」、「本邦一時隔離関連経費」に加え、新型コロナ対策費用の緊急輸送が含まれる場合の海外旅行保険料について JICA にご負担頂く 200 円/日についても計上しないという理解でよいか。	その通りです。契約交渉時に別見積をお願いいたします。
⑯	p.7(6)見積書 5)	先の質問に関連して、『コンサルタント等契約における現地渡航再開に当たっての経費の取扱いについて』(2021 年 10 月 25 日改訂版)の中の「3) その他コロナ対策関連経費」には、業務地でのコロナ予防策としての執務室の整備・拡大、業務従事者等の分譲に伴う車両関連費における数量増加費用等及びこ	その通りです。執務室整備等のコロナ対策関連費については、見積書において安全対策関連経費として別見積にて計上してください。

		<p>れらに準ずる費用の追加の計上を認める、との記載があるが、これらは業務指示書の中に、「計上しないでください」とご指示があった「PCR 検査代および隔離期間中の待機費用等」には含まれないとの理解でよいか。すなわち、上記のような執務室整備等のコロナ対策関連費については、見積書において安全対策関連経費として別見積にて計上するという理解でよいか。</p>	
--	--	--	--